

令和4年1月23日執行

あわらし選挙管理委員会

あわらし市長候補者選挙公報

公約

公約を守るように、市民、議会、市役所と協調し、議論と合意と公開で、オールあわらで全力で実行します。老若男女が納得できる、清新で効率的で公平、つまり合理的な、福井県一住みやすく人が集まるあわらしにしましょう。

やるべき事と、やるべき順序。

公約	最初の4年間でやる事。	次の4年間で。	それ以降で。
1 100万都市実現		●坂井市との合併	●嶺北で合併 ●小松等との合併
2 区は親睦団体へ	●公共的な仕事(掃除、ごみ、連絡等)は金津町、芦原町で ●祭り(屋台、屋形船、花火)はプロに ●女性、若い人が区長に		
3 市役所、議会改革	●市役所に市民部、デジタル部設置 ●議員は各部のカウンターパートで常勤、給料増		
4 小中学校改革	●小学校の3校統合 ●1km以上の生徒はスクールバス ●2歳以上の生徒を朝8時から夜7時まで学校で預かる ●体操服以外の制服、カバン、靴等は、指定のものか否かの選択性	●すべての教育費を無料 (授業料と教科書代)	
5 選挙制度改革	●記号式で電子投票	●政策表明と討論による選挙	
6 大規模な農業	●イノシシ等のジビエ料理(食肉処理業、販売業)	●あわらしで一社のメガファーム (あるいは、丘陵に畑、田圃に田)	
7 再生エネルギーを3~150倍に		●水力、風力、太陽発電を少なくとも今の3倍に。特に洋上風力発電促進	
8 グリーン投資	●フードロスの削減(冷凍、真空パック) ●リサイクル (有機性ごみを焼却から堆肥、メタン等リサイクルへ)		●自転車道・歩道の充実 (新設道路の併設、特に街中)
9 観光	●丸岡から三国までの水路交通(水の都) ●水陸両用バス(将来はえち鉄) ●芦原温泉駅~番田(3km)、あわら湯のまち駅~芦原温泉、北湯(4km) ●竹田川屋形船、屋台、花火の祭り	●芦原温泉駅の改善 ●あわら三国駅と改名 ●飲食街に特化 ●映画館	●北湯湖開発 ●リゾート ●動物園(パンダ) ●福井大学
10 デジタル化	●マイナンバー100%、戸籍から個人管理へ ●マイナンバーと口座の紐づけ、決済、納税、給与の電子化 ●電子投票、請願、保険証、免許 ●ドローン、キックボード使用の促進		●自動運転
11 災害対策		●山十楽等丘陵地に第二市役所、避難施設 ●中心街にアーケード街、屋根に太陽光パネル、融雪装置(お湯シャワー)	●市街を囲む口の字型幅広道路 (二面口~山十楽~下金屋、田中中~二面口、田中中~芦原温泉駅~北野、8号線・高速道路)
12 上下水道の合理化	●芦原温泉街財産区と市上水道事業の統合	●民間導入	●下水道普及率100%
13 75歳以上無料タクシー	●市内無料10台		
14 個人の尊重	●夫婦別姓を原則に (マイナンバーや住民票等の旧姓併記、会社や役所での旧姓の使用等) ●同性パートナーシップの導入 (公営住宅や賃貸住宅への入居、病院での手術や入院時の付き添い、携帯電話料金・運転・入場料などの家族割引、生命保険金の受取等を可能に)	●出産時の社会的不公平の是正 (出産後、同期と同等の給料・地位、父母とも13か月半づつの出産育児休暇)	
15 後継者	●選挙を政策発表と討論で、働いている若い人、生徒を7時まで預かり、女性が立候補しやすく		

プロフィール

外科医、福井医科大学医学部卒業。日本電信電話株式会社(NTT)本社国際部担当課長(29歳、同期最速管理職)、米国ピッツバーグ大学工科大学院修了、東北大学工学部卒業、千葉県立千葉高等学校卒業、千葉県立千草台中学校生徒会会長、2021年11月、日本のあるべき姿を著した「日本理想未来図(文芸社、340ページ)」を著作発刊。



無所属

中川智和

ナカ ガワ トモ カズ

昭和38年1月27日

生まれ

58歳

あわらし市花乃杜

1-2-39

医療法人 泉壽会理事長

加納病院院長

中川智和



プロフィール

昭和33年3月生まれ。芦原中学校、藤島高校、橋本大学法学部卒業、昭和57年福井県庁入庁。福井県職員「大野市派遣(産業経済部長)、総務部人事企画課長、観光営業部企画幹、同部長(ほか)」
福井県観光連盟専務理事
農業 / 3世代6人家族、愛犬ルン
特技・趣味 / 剣道四段、旅行、ウォーキング

facebook



YouTube



誰もががときめくあわらし市に！

人口減少・少子高齢化が進む中、10年先、20年先を見据えて、誰もが夢や希望を持ち、ドキドキ・ワクワク・キラキラと笑顔で元気に暮らせるまちを実現するため、全力で取り組んでまいります。

ときめき戦略の3つの柱

- ◎北陸新幹線開業効果の最大化と活用
- ◎DXの推進による「ときめきスマートシティ」の実現
- ◎市民の感幸・活力創造活動の推進

基本政策

- 活き活きとした集落づくり ●住み、生み、育てたくなるまちづくり
- 健康長寿のまちづくり、福祉のまちづくり
- 子どもたちにより良い学びの環境を ●農林水産業、商工業の振興
- 和心あふれる国際的な感幸地の創造 ●新型コロナウイルス対策の充実
- 快適なまちに向けた社会基盤の整備 ●空き家、定住・移住対策の強化
- 安全・安心で災害に強いまちづくり ●健全な行財政の運営
- SDGs(持続可能な開発目標)、脱炭素社会の推進 など



無所属

佐々木やすお

あわらし市番田

(63歳)

令和4年1月23日執行

あわらし選挙管理委員会

あわらし市長候補者選挙公報



〈無所属〉

もり 木森 ゆきつぐ

昭和28年5月生まれ

68歳

あわらし香宮二丁目(天王)

ボードセンター森建材 代表

つながるあわらし、そして未来へ

まちづくりの主役は一人一人の市民です。市民目線で風通しのよい市政運営。これが今あわらし市に求められていることです。そして、市と市民が、地域と地域が、人と人が、ふるさとを愛する思いのもとに、つながるまちを目指します。

① チャンスを逃がさない

芦原温泉駅西口施設は、ソフトに注目して市民を巻き込んだ議論を進めるとともに、駅と竹田川を一体的なまち歩き空間として整備して、訪れたいなるまちづくりを進め、新幹線開業というビッグチャンスをも市の飛躍の機会とします。

② 少子高齢化に挑む

学校給食費の無償化などを検討し、子育て世帯の負担軽減を図ります。また、移住支援金や就労相談など、県外などからあわらし市へ移住・定住する人たちへの支援を一層充実するとともに、若者の出会いの場の創出に努めます。

③ だれ一人取り残さない

世代間の交流の場を創設し、お年寄りの生きがいづくりを応援するとともに、福祉に関するワンストップ窓口の創設とさまざまな支援のネットワーク化を進め、だれ一人取り残さないまちの実現を目指します。

④ まちに活気を

観光業、農林水産業、商工業など産業の特性を見極めて、バランスの取れた支援を行います。また、あわらし温泉街と金津市街地を結ぶ幹線道路沿線への大型商業施設の誘致に努め、人々が集い賑わう活気に満ちたまちを実現します。

⑤ 持続可能な行財政運営

芦原温泉駅周辺整備や下水道整備に係る借金返済がピークに達したことなどから、ここ何年かは市の貯金である財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況が続いています。今後さらに道の駅の整備などが控える中、事業の選択と集中の精度を高め、透明かつ健全で、持続可能な行財政運営に努めます。

プロフィール

同志社大学商学部卒

元 あわらし市議会議員(3期12年) / 元 あわらし市議会議員(H29・30) / 元 金津町青壮年団体連絡協議会会長

元 金津小学校PTA会長 / 元 金津高校PTA会長 / 元 金津町社会教育委員 / 現 あわらし交通安全協会理事



ホームページ

1月23日(日)は あわらし市長選挙の 投票日です。



投票時間
午前7時～
午後8時

投票できる人は?
(選挙権)

年齢
住所

投票日において満18歳以上の人(平成16年1月24日以前に生まれた人)
選挙の基準日(1月15日)において、引き続き3ヵ月以上、あわらし市の住民基本台帳に記載され、選挙人名簿に登録されている人
※ ただし、選挙人名簿に登録されている人であっても、投票日までに他の市町村へ転出した人は投票できません。

投票日に投票所に行くことができない方は、期日前投票を!

最新の開票情報を下記のとおりお知らせします。

- ケーブルテレビ(午後9時から) 開票状況を091チャンネルで放送します。※市役所1階 ロビーでも同番組がご覧いただけます。
- ホームページ(午後9時30分から20分間隔)
<http://www.city.awara.lg.jp/mokuteki/cityinfo/life1001/p012408.html>
- 携帯Web(午後9時30分から20分間隔)
<http://www.city.awara.lg.jp/mobile/mokuteki/cityinfo01/life11/life1101/p012408.html>



詳しくは、あわらし選挙管理委員会にお尋ねください。

※この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真製版によって印刷したものです。